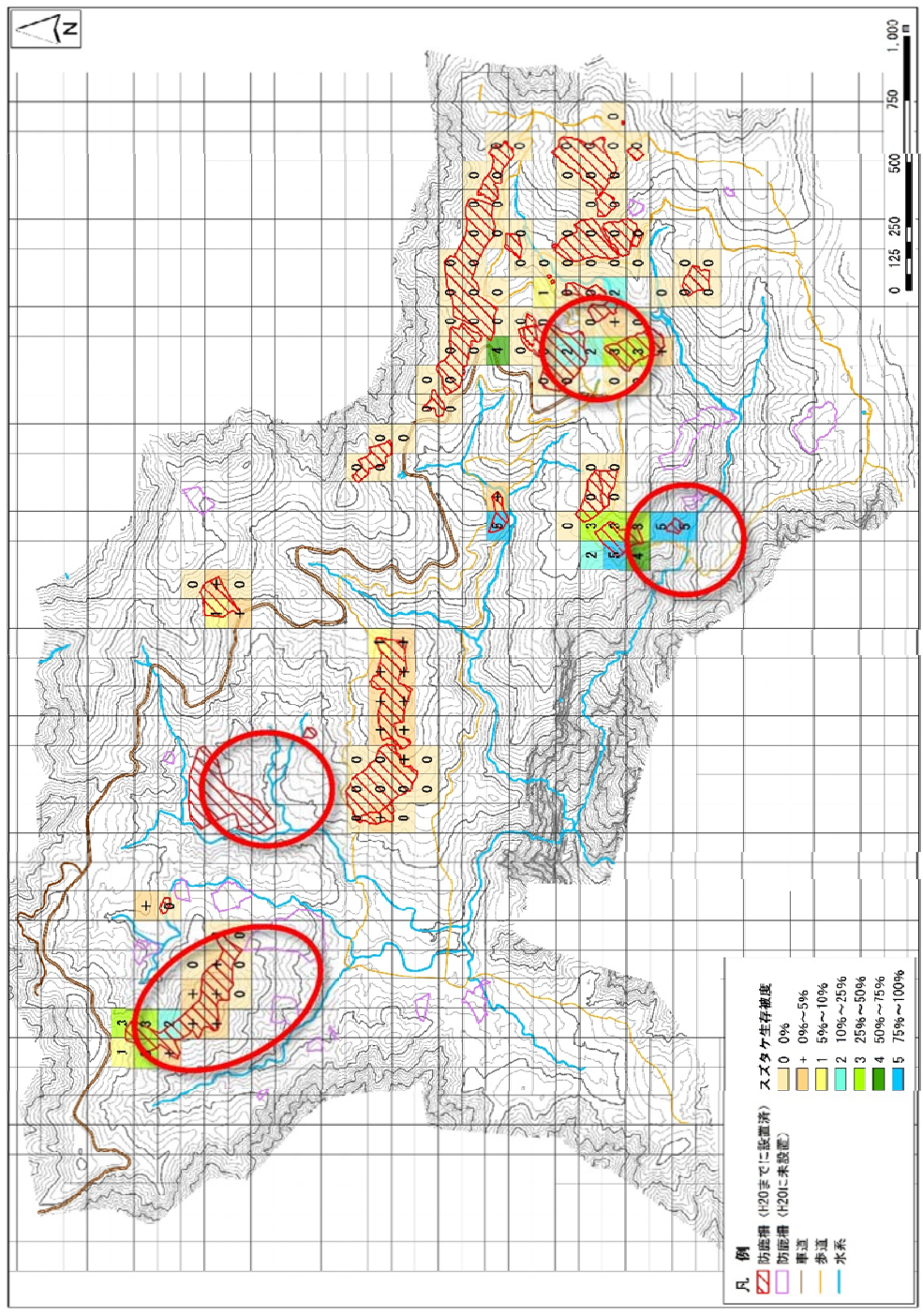
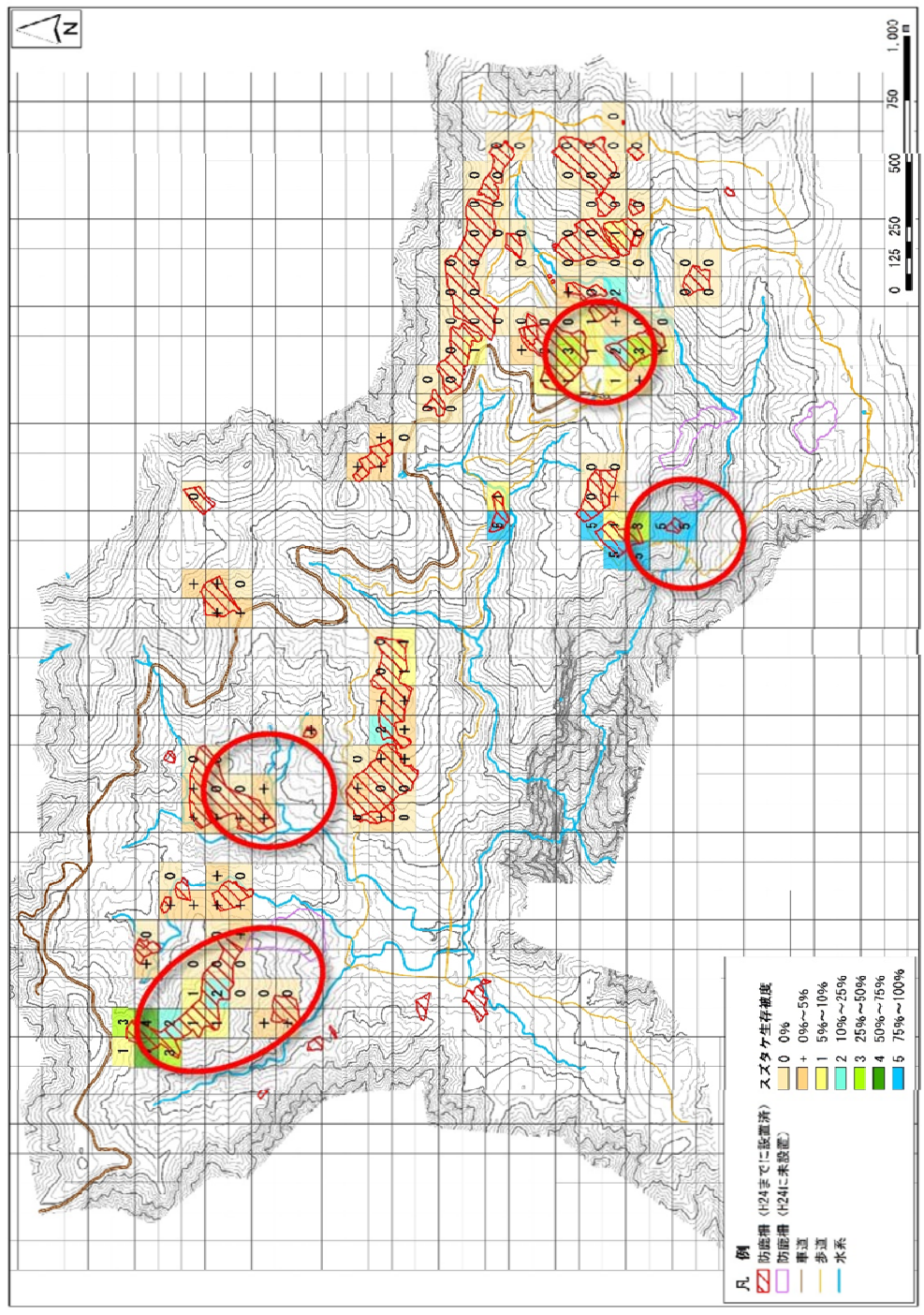


平成 20 年度



平成 24 年度



平成 28 年度

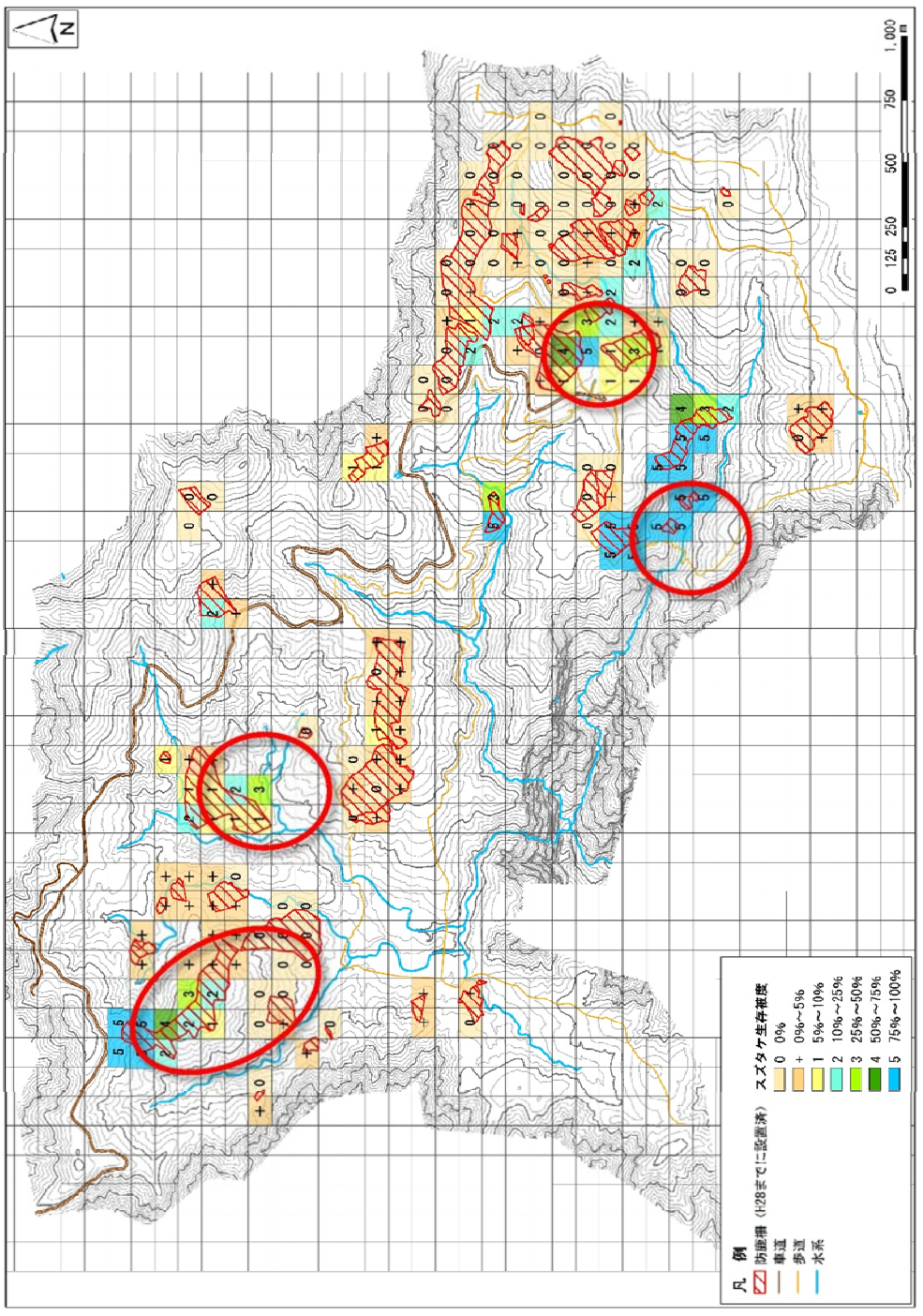


図 5.4.14 平成 20 年度、24 年度、28 年度の防鹿柵内におけるスズタケの被度クラス分布

c. コケ類

平成 20 年度、24 年度、28 年度の防鹿柵内におけるコケ類の被度クラス分布を図 5.4.15 に示した。

平成 20 年度からの防鹿柵内のコケ類の被度の主な変化を以下にまとめた。

- 東大台では苔探勝路の防鹿柵内でコケ類の被度が上昇している。尾鷲辻の北（植生タイプⅢ）の防鹿柵内ではコケ類の被度が低下してきている。
- 西大台では経ヶ峰下（植生タイプⅦ）やコウヤ谷など、スズタケの被度が上昇している柵内でコケ類の被度の低下が見られる。